



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ソマール株式会社

上場取引所 東

コード番号 8152 URL <https://www.somar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾谷 太

問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部長 (氏名) 佐藤 弘人

TEL 03-3542-2152

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,485	7.2	302	66.2	328	47.9	88	51.2
2023年3月期第1四半期	6,048	8.4	182	10.5	222	5.1	181	11.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 479百万円 (11.5%) 2023年3月期第1四半期 542百万円 (19.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	45.78	
2023年3月期第1四半期	93.77	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	23,860	15,166	63.5
2023年3月期	23,694	14,783	62.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 15,162百万円 2023年3月期 14,779百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		50.00	50.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	3.8	710	10.8	770	13.1	275	55.0	141.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2023年8月10日)公表いたしました「特別損失の発生及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,958,734 株	2023年3月期	1,958,734 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	19,504 株	2023年3月期	19,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	1,939,257 株	2023年3月期1Q	1,939,566 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直し基調に転じています。しかし、ウクライナ情勢の長期化等の地政学的リスクや、資源価格の大幅な高騰に起因した材料調達コスト及び電気・ガス料金の急激な上昇などにより、当社グループの経営環境は、依然として先行き不透明な状況が続くものと想定しております。

こうした状況下で当社グループは、引き続きグループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通信・半導体・次世代自動車・自然エネルギー分野・蓄電池・建材、化粧品、介護食等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が64億8千5百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益が3億2百万円（前年同四半期比66.2%増）、経常利益が3億2千8百万円（前年同四半期比47.9%増）となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、退職給付制度改定損3億2千万円を計上したことにより8千8百万円（前年同四半期比51.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

## [高機能材料事業]

電子機器業界向け関連製商品の販売では、世界的なインフレ懸念による需要低迷によりスマートフォン市場が停滞しているものの、海外子会社との連携強化により、新たな販路開拓に取り組んだことから、売上高は前年同四半期並みに推移しました。自動車部品業界向け製商品の販売では、好調に推移する受注環境下、特にEV関連部品向け樹脂製商品の販売が伸長し、前年同四半期を上回りました。その結果、当事業全体の売上高は45億8千2百万円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益は2億8千6百万円（前年同四半期比53.7%増）となりました。

## (主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
コーティング製品	スマートフォン向け電子部品製造用途は、市場が停滞しているものの、遮光部材の新規開拓を進展させたことで、前年同四半期を上回り2.6%の増収となりました。
高機能樹脂製品	自動車部品業界向け電気絶縁用樹脂は、EV関連部品向け販売が好調に推移したことで16.2%の増収となりました。
電子材料	自動車部品向け絶縁材料や産業機器モーター向け絶縁材料が堅調に推移し、7.8%の増収となりました。
機能性樹脂	回路基板向け熱硬化性樹脂や電子部品業界向けの熱可塑性樹脂は、取引価格の上昇や自動車部品業界向けの販売が増加したことで13.5%の増収となりました。

## [環境材料事業]

主要な販売先である製紙業界では、新聞・塗工紙の市場は継続して縮小し、堅調だった板紙・生活産業用途も厳しい事業環境に転じております。このような状況下、当社グループにおいては、市場ニーズに応じて、特長を生かした差別化製商品の拡販と新たな用途や周辺市場の開拓等に取り組んでまいりました。製品販売では、製品機能を向上させつつ、板紙分野への拡販に注力したことで、前年同四半期を上回りました。商品販売では、塗工紙の生産量が減少している市場環境下、取引価格の改定や取扱商品のシェア拡大に努めたことで、前年同四半期を上回りました。その結果、当事業全体の売上高は11億5千9百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益は3千8百万円（前年同四半期比870.3%増）となりました。

## (主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
ファインケミカルズ	製品機能を向上させつつ、底堅い需要が見込まれる板紙分野への拡販に鋭意取り組んだことで、2.1%の増収となりました。
製紙用化学品	主要取扱商品の塗工用バインダーは、塗工紙の生産量が減少している環境下において、取引価格の改定に取り組むとともに、取扱商品のシェア拡大に努め、1.1%の増収となりました。

## [食品材料事業]

食品材料事業では、健康に優しく特長ある天然の食品素材を主要な取扱商品としており、的を絞った施策を推進し、食品業界などへの拡販に鋭意注力してまいりました。これに加えて、これまでの営業活動で蓄積した食品に関わる様々な情報や技術を活用して、新規商材の発掘や市場の開拓、更には、独自性の発揮できる新規複合食品素材の開発といった新たなテーマにも積極的に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間の販売では、家庭用加工食品向けは、引き続き堅調に推移するとともに、業務用加工食品向けは、原産地の天候不順・物流コストの増加等に起因した市場価格の大幅な上昇により、需要の不透明感が高まったことで、取引数量が減少し、増粘安定剤や乾燥野菜の販売は、前年同四半期を下回りました。その結果、当事業全体の売上高は7億1千9百万円（前年同四半期比6.8%減）、営業利益は4千8百万円（前年同四半期比29.5%減）となりました。

## (主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
食品素材等	取扱商品の市場価格の高騰により、需給環境の変動で需要が落ち込んだことで、取引数量が減少し、6.8%の減収となりました。

## [その他の事業]

当社グループの成長を支える新たな事業領域を開発・育成すべく取り組んでいる「その他の事業」では、アフリカから輸入した切り花の国内販売や、新市場開発用途の商材を発掘しつつ、新規ビジネスの可能性を追求する活動に積極的に取り組んでおり、試販等による事業化への検討を進めております。当第1四半期連結累計期間における輸入生花の販売は、国内産地の生産が安定的に供給されたことにより、販売価格が下落しました。その結果、「その他の事業」の売上高は2千3百万円（前年同四半期比15.5%減）、営業損失は3百万円（前年同四半期は営業利益2百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、238億6千万円となり、前連結会計年度末と比較して1億6千5百万円の増加となりました。これは主に、棚卸資産が3億6千4百万円、退職給付に係る資産が3億5千万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が2億8千8百万円、受取手形及び売掛金が1億8千8百万円、投資有価証券が3億5千5百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

## (負債)

負債については、86億9千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億1千6百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が3億4千7百万円、賞与引当金が5千5百万円、その他固定負債が7千4百万円それぞれ減少したことによるものであります。

## (純資産)

純資産については、151億6千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億8千2百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が8百万円（8千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、9千6百万円の剰余金の配当による減少）減少したものの、その他有価証券評価差額金が2億4千3百万円、為替換算調整勘定が1億4千万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年8月10日）公表いたしました「特別損失の発生及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,866,451	5,154,986
受取手形及び売掛金	5,772,109	5,960,312
電子記録債権	1,695,849	1,609,150
棚卸資産	4,827,250	4,462,416
その他	410,804	461,059
貸倒引当金	△11,550	△11,570
流動資産合計	17,560,915	17,636,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,444,920	1,483,855
機械装置及び運搬具（純額）	573,652	696,096
土地	404,400	409,694
建設仮勘定	496,280	428,743
その他（純額）	143,728	130,594
有形固定資産合計	3,062,983	3,148,984
無形固定資産	114,663	116,767
投資その他の資産		
投資有価証券	1,573,393	1,928,786
退職給付に係る資産	350,854	—
その他	1,546,118	1,543,983
貸倒引当金	△514,265	△514,235
投資その他の資産合計	2,956,100	2,958,535
固定資産合計	6,133,747	6,224,286
資産合計	23,694,663	23,860,641
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,517,175	3,170,008
短期借入金	—	300,000
未払法人税等	136,709	165,879
賞与引当金	127,000	71,182
その他	867,470	798,557
流動負債合計	4,648,356	4,505,627
固定負債		
長期借入金	4,000,000	4,000,000
資産除去債務	64,292	64,334
退職給付に係る負債	4,762	4,874
その他	193,366	119,130
固定負債合計	4,262,421	4,188,339
負債合計	8,910,777	8,693,967

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	3,132,052	3,123,867
自己株式	△58,427	△58,645
株主資本合計	12,662,788	12,654,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	456,642	700,495
繰延ヘッジ損益	△1,242	16,917
為替換算調整勘定	1,650,329	1,790,335
退職給付に係る調整累計額	10,602	—
その他の包括利益累計額合計	2,116,332	2,507,748
非支配株主持分	4,765	4,540
純資産合計	14,783,885	15,166,674
負債純資産合計	23,694,663	23,860,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,048,155	6,485,173
売上原価	5,047,175	5,318,002
売上総利益	1,000,979	1,167,170
販売費及び一般管理費	818,883	864,477
営業利益	182,096	302,692
営業外収益		
受取利息	877	7,092
受取配当金	28,324	29,799
為替差益	4,509	—
その他	14,291	10,946
営業外収益合計	48,002	47,838
営業外費用		
支払利息	4,141	5,387
債権売却損	900	1,027
持分法による投資損失	511	—
為替差損	—	12,939
その他	2,166	2,244
営業外費用合計	7,720	21,599
経常利益	222,378	328,931
特別損失		
退職給付制度改定損	—	320,232
減損損失	1,321	3,277
特別損失合計	1,321	323,509
税金等調整前四半期純利益	221,056	5,421
法人税、住民税及び事業税	31,424	102,232
法人税等調整額	7,967	△185,367
法人税等合計	39,391	△83,134
四半期純利益	181,665	88,556
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△207	△224
親会社株主に帰属する四半期純利益	181,873	88,781



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	181,665	88,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,559	243,853
繰延ヘッジ損益	△4,092	18,159
為替換算調整勘定	366,824	140,005
退職給付に係る調整額	8,486	△10,602
その他の包括利益合計	360,658	391,416
四半期包括利益	542,323	479,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	542,531	480,198
非支配株主に係る四半期包括利益	△207	△224

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職金制度の改定)

当社は、2023年7月より、退職金制度の改定を行い、確定給付企業年金制度を確定拠出年金制度へ移行いたしました。

本制度の移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号 2016年12月16日改正）及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第2号 2007年2月7日改正）を適用し、当第1四半期連結会計期間において、退職給付制度改定損320,232千円を特別損失に計上しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高機能材 料事業	環境材料 事業	食品材料 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,104,855	1,143,269	771,795	6,019,920	28,234	6,048,155
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,104,855	1,143,269	771,795	6,019,920	28,234	6,048,155
セグメント利益	186,562	3,978	68,117	258,658	2,732	261,390

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	258,658
「その他」の区分の利益	2,732
全社費用（注）	△79,294
四半期連結損益計算書の営業利益	182,096

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高機能材 料事業	環境材料 事業	食品材料 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,582,757	1,159,024	719,536	6,461,319	23,853	6,485,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,582,757	1,159,024	719,536	6,461,319	23,853	6,485,173
セグメント利益又は損失(△)	286,801	38,608	48,019	373,428	△3,489	369,939

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,428
「その他」の区分の損失(△)	△3,489
全社費用(注)	△67,246
四半期連結損益計算書の営業利益	302,692

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。